

メルマガ全部協プライムニュース

2017年1月号

<http://zenbukyo.or.jp>

このメールは、組合員、賛助会員、及び旧「全部協プライムニュース」の配信希望登録を頂いた、組合員企業の社員、関係機関・団体・企業の皆さまにお送りしております。

C O N T E N T S

- 1, 「メルマガ全部協プライムニュース」とは
- 2, 「オートモーティブプライムニュース」とは
- 3, 全部協活動報告
 - 1) 経営組織・事業運営 合同委員会
 - 2) 第10回編集委員会
- 4, 支部・ブロック協議会活動報告
 - 1) 全九部理事会開催
 - 2) 長野県支部研修会開催
- 5, 統計情報
 - 自動車販売統計
 - 整備工場統計
- 6, 事務局からのお知らせ
 - 1) 地方支部会合やブロック協議会における全部協事業活動照会協力お願い
 - 2) 「富士通パソコン冬期販売」～タブレット型とコンパクトタイプを追加しました～
 - 3) 好評の機関誌「オートモーティブプライムニュース」

- 4) 国内生産の ZEN-ERIC (R) 商品
- 5) 「IAAE2017」開催 (3月15日~17日)
- 6) あっせん販売商品の紹介
- 7) 「共同購買サイト」掲載商品
- 8) 「共同購買サイト」の“お知らせ”から
- 7, 全部協会議・活動日程
- 8, メルマガ配信アドレス登録お願い
- 9, 付録
 - 1) 大同生命からのお知らせ
 - ①付録【社内規程】
 - ②201701【ビジネスレポート】
 - 2) ワイパーリフィール特価キャンペーンチラシ
 - 3) PB 商品の広告
 - 4) その他の広告リンク
 - ・ショーワグローブ株式会社

1 「メルマガ全部協プライムニュース」とは

- イ、全部協<内部情報専門>の「メールマガジン」です。
- ロ、理事会や委員会、組合の各種事業活動及び組合員への連絡事項を発信します。
- ハ、<毎月>、組合員、賛助会員及び所管官公庁、協力企業に配信します。

2 「オートモーティブプライムニュース」とは

- イ、部品商の<顧客向けの情報誌>です。
- ロ、<奇数月発行>のタブロイド版の「紙面情報誌」です。
- ハ、補修部品情報はもちろん、卸問屋企業や部品メーカーからの情報、自動車業界動向、各種技術情報、全部協の諸活動、等々を発信して参ります。
- ニ、<希望を募り「無料」で>組合員・賛助会員へ配送します。

ホ、組合員の営業ツールにすることを目的にしています。

3 | 全部協活動報告

I 経営組織・事業運営 合同委員会

全部協は第 14 回経営組織・第 15 回事業運営の合同委員会を平成 28 年 12 月 8 日（木）と 9 日（金）に東京新橋のニュー新橋ビル地下 2 階ニュー新ホールで開催しました。

議題は、以下の通りです。

- (1) 事務局職員退職に伴う新規採用について
- (2) 全部協の運営体制と財政収支状況（実績・見込）
- (3) 組合員企業の資本金及び常時使用する従業員数等の調査について
- (4) 基礎統計・取引実態調査アンケート実施
- (5) 訪米視察ツアー計画策定について
- (6) ZEN-ERiC 商品提供企業との会談
- (7) 「共同購買サイト」改善と費用について
- (8) マツダパーツとの話し合い及びメーカーとの懇談会日程
- (9) 互換入力者報賞（平成 28 年度第 2 四半期報賞）
- (10) 互換入力キャンペーン実施と年間報賞について
- (11) ZEN-ERiC 商標の組合員利用と事業化
- (12) 「全部協 FaceBook」運営と投稿権限者について
- (13) ワイパーリフィールキャンペーン実施について
- (14) 共同購買事業への理解と協力お願いについて
- (15) その他

※詳しい議事内容は、ホームページの組合員ルームで確認ください。

1, 事務局職員退職に伴う新規採用について

事務局から資料をもとに、派遣社員を事務局職員として採用することが報告され、提案どおり了承されました。

- 1) 派遣会社名 アデコ株式会社
- 2) 派遣社員（女性）の業務経験年数 26年8ヶ月
- 3) 主な業務経験 紙卸業、電気系資材メーカー、出版印刷業、
官庁外郭団体、化学メーカーほか、主に一般事務職として就労
- 4) 就労開始期日 平成28年12月9日から
※12月9日の当委員会終了後に出席委員全員に紹介しました。
- 5) 就労時間および休日等は全部協規定どおり

2. 全部協の運営体制と財政収支状況（実績・見込）

全部協の財政収支状況の実績（H23～H27）と
今後の見通し（H28～H30）について事務局（専務理事）から
説明がありました。

1) 財政収支状況の今後

（1）資本の部

組合員の廃業などによる脱退が見込まれることと、資本の部への事業収益
利益金の積み立てと繰り越しができなくなることから全体の資本金が29年度
以降減少する見込みです（H30で約△25百万円）。

（2）収入の部

組合員の共同購買事業への参加不振と組合員減少により、
共同購買事業、保険事業、賦課金等の収入の減少が
見込まれます（H27比、H30で約△3百万円）。

（3）支出の部

平成27年度、28年度並の事業活動を維持するとした場合は、事務局要員の
専務理事、事務局長の交代のための人件費の上乗せなどから支出が増加する
見込みです（H30で約+12百万円）。

（4）収支差合計として

H29、H30においては、前期繰越金と特別積立金、および、
利益準備金等を取り崩して補うことを行っても、マイナスを予想せざるを

得なくなります（H29 で±0、H30 で△9.6 百万円）。

2) 今後の事業活動と運営体制（要約）

全部協の収支を見通した場合に、業界事情を背景にした組合員の減少傾向から賦課金減少と保険事業収入の減少は避けられません。また、事業協同組合として行う収益事業の大きな柱である共同購買および販売事業が、今後大幅に組合員から評価され利用される見通しは立っていません。

これらを踏まえた収支改善策としては、事業の縮小ないしは、賦課金の値上げおよび互換収益事業の利用料の値上げが、当面の対応策となります。

事業の縮小は、自ずと全部協が掲げている「全部協経営未来ビジョン 2016」は不可能になり、また、組合の改組縮小は、事業協同組合として認められている団体協約事業の取り組みを難しいものにしていきます。

今回の議題には取り上げませんでした。賦課金の値上げや、互換利用料値上げを行うにしても、組合事業への組合員からの理解と賛同無くして、その実現は非常に困難です。事務局要員交替のための一時的な経費増加を凌いでも収支回復の見通しは立てられません。基本的な財政構造が変わらない限り、組合組織の維持は難しい局面に立ち至っている状況です。

上記の全てに亘り、全部協の存続の検討が急がれる理由となっています。

3) 所管官庁（経産省、公取）からの指導（背景要約）

公益社団（全部連）から事業協同組合（全部協）への改組には、経産省自動車課の指導と理解が大きく作用し推進力となりました。経産省自動車課が自動車補修部品取引実態の歪みに問題意識を持ち、行政としてその改善に取り組む中で、自動車課が所管する全国規模の事業協同組合である全部協を抱えることに大きな意味を見いだしていたと考えられます。その証左として、足かけ5年の歳月を掛けて自動車課が取りまとめた「自動車補修部品産業未来ビジョン」作成には、全部連から全部協にかけて多くの意見を述べる機会が与えられ、また、相談を受ける機会を得た経緯があります。その中に掲載された「自動車補修部品適正取引の推進（旧適正取引ガイドライン）」を取りまとめるには、自動車課が公正取引委員会から手続き上の問題を指摘されながらも、自動車課の謝罪を入れて掲載了承を公正取引委員会から獲得するほどの精力を傾注しました。

補修部品流通の主要を占める部品商の団体として、全部協には経産省自動車課の一連の行政施策に応える役割が課せられていると云えます。その答の一つとして、「全部協経営未来ビジョン 2016」を取りまとめました。全部協の活動は

一部品商業界の視点だけでなく、補修部品流通市場全体の改革・改善の視点で議論されなければなりません。そのために、全部協は何ができるのか、何をしなければならぬのか。大きな負託が課せられているといえます。

したがって、今回の経産省からの問いかけ（事業協同組合としての実態の調査・把握：次項-3）はそれらを踏まえてのことと理解され、役割を担える団体組織であるかの確認となります。

3. 組合員企業の資本金及び常時使用する従業員数等の調査について

経産省自動車課および公正取引委員会からの指示により、組合員の実態を把握することについて、事務局（専務理事）から説明がありました。

1) 調査内容項目

- (1) 資本の額または出資の総額
- (2) 常時使用する従業員数
- (3) 営業所・支店および出張所等の従たる事務所数

2) 調査実施時期

理事長の承認を得て、1月中に実施します（予定）。

※組合員からの回答をどの様に取りまとめ経産省へ報告するか、詳しい手続きについて1月19日の正副理事長会議で再度議論し日程を決めることとなります。

4. 基礎統計・取引実態調査アンケート実施

事務局から平成28年度基礎統計・取引実態調査アンケート実施スケジュールの説明がありました。

- 1) アンケート配布（組合員への発送） 11月30日
- 2) 回収締め切り日 1月31日
- 3) 督促締め切り日 2月13日
- 4) データー集計 2月20日
- 5) 報告書取りまとめ 2月27日
- 6) ダイジェスト版取りまとめ 3月6日

資料としてアンケート調査票が配布されました。その中の「協力お願い」文書に記載されている全部協のプラバシーポリシーの文面について、全部協がアンケートデータの閲覧を行っている誤解を与えることから、削除する提案が

なされました。次年度から削除することにします。

5. 訪米視察ツアー計画策定について

前回の委員会（第13回経営組織委員会、9/7）で、経営組織委員会に専門チームを作り、訪米計画を策定することになっています。その具体的な作業方法について事務局から項目をあげ確認を行いました。

<事務局から確認した訪米計画策定項目>

- 1) 訪米目的
- 2) 訪米訪問先
- 3) ツアー編成形態
- 4) 仲介者（立てる場合）
- 5) 今後のスケジュール
 - (1) 検討チームの編成
 - (2) 訪米計画立案承認
 - (3) 旅行業者との話し合い開始時期
 - (4) 訪米の時期
- 6) 独自催行を行わない場合の対応

各委員からは、海外の事情を視察・調査する意味を見いだせないとして実施に消極的な意見と、車検制度が無い海外の事情視察はむしろ日本の特殊性を知る良い機会であり、また、大々的に補修部品の大量調達を行っている米国のシステムを見ることは、全部協の共同購買事業を占うのに参考になるなど、賛否が分かれました。

実行する・しないを含めて、訪米計画を今後どの様に取り扱うかは、次回の経営組織委員会（3/23）へ持ち越すことになりました。

6. ZEN-ERiC 商品提供企業との会談

ZEN-ERiC 商品提供企業と意見交換を行いました。

1) ブレーキパッドの共同購買事業について

11月17日の事業運営委員会で行った、ZEN-ERiC ブレーキパッド提供企業との会談内容が事務局から報告されました。

ブレーキパッドの販売が思うように進んでいないことについて、打開策が提案されました。現在の軽自動車7品目から、一般車まで上げた50品目を取り扱えるようにして、組合員がZEN-ERiC ブランドブレーキパッドの販売をより展開しやすくすることの提案でありました。しかし、事業運営

委員会として、この提案を受け入れることは難しい結論になっています。

事務局の報告を受けて、事業運営委員長は経営組織委員会のメンバーからブレーキパッドの購買事業の進め方について問いかけ、意見を求めました。

(1) 事業運営委員長の問いかけ

- ・ブレーキパッドを共同購買事業とすることは理事会で数度の議論を重ね理事の同意の下に取り組むことにしました
- ・しかし、総論賛成であるが、理事役員の会社でも取り扱わない実態があり、非常に苦戦しています
- ・事業運営委員会として撤退は考えていませんが、傷口が小さい内にそれも考えるべきと思っています
- ・現状7アイテムでは営業展開が難しいのが実情です。客先に紹介して7アイテム以外の注文があった場合、同様の（品質及び）価格で応えることができません。それでは注文を断られることとなります
- ・取り扱いできない理由として、他に、価格、発注方式が異なるなどの問題もあるとの意見があります
- ・また、事業規模の違いからメリットを得られないことが理由として挙げられますが、6億円以下の売り上げ規模の多くの組合員にとってはメリットがあると思われます
- ・中古部品業者が優良部品を取り扱い、安値で販売している実態があります
- ・しかし、われわれは純正部品を取り扱っていることから、優良部品をそれに対抗して販売できないジレンマがあります
- ・その意味で ZEN-ERIC パッドは非常に戦略的な商品と思いますが、理解が得られません
- ・なかなかこのことが小規模の組合員へ伝わりません。どの様に知らしめたら良いか苦慮しています
- ・このことはあっせん販売の補修ガラス、ワイパー、(タイヤ)、アドブルーについても同様です

(2) 結論として

事業運営委員長の問いかけに対して、経営組織委員と事業運営委員及び商品提供企業からさまざまな意見と質問が交わされましたが、議論は尽きることがありませんでした。一連の議論の総括として事業運営委員長はとりあえずの結論として以下に締めくくりました。

- ・（各委員の意見からも推測されるように）おそらく、法律の規定どおりに全部協組合員（=事業協同組合員）に共同購買事業へ全員参加する義務を課さないで ZEN-ERIC 商品は成功しないかも知れません
- ・共同購買の媒体（「共同購買サイト」など）は今のままで良いと思われま
- ・皆さんの協力を得て全組合員へ是非（直接口頭で）取り扱いを勧めたい
- ・やむを得ずパッドの取り扱いをやめるにしても、部品商ないし全部協の品藻を疑われることがないようにしましょう。今現在メーカーに迷惑をかけていることは事実です。できるだけ迷惑をかけない方法を探りたいと思います
- ・まずは、（皆さんとともに）今の条件で取り組んで行きましょう
- ・これで、本日のパッドの議論は終えることにします

7、「共同購買サイト」改善と費用について

11月7日開催の情報専門部会で、「共同購買サイト」の利用を促す取組の1つに、「共同購買サイト」をもっと使いやすくする提案がなされました。現在の「共同購買サイト」には利用者にとって次のような使いづらさがあります。

- イ、サイトの文字が小さい
- ロ、説明画像を閉じるときに「×」が無いので戸惑う
- ハ、おすすめ商品の掲示が無く注目すべき商品が判りづらい
- ニ、サイト画面トップに、利用者にとってあまり役立たない改定履歴があり、画面構成レイアウトが良くない
- ホ、商品がカテゴリー別に分かれていないので探しづらい
- ヘ、IDとPASSの入力を求められることから、興味本位に気軽にサイトを覗き見ることができない

これらを踏まえ、11月17日の事業運営委員会において「共同購買サイト」のデザインを含めて、使いやすく、見やすく、利用しやすくするために、サイトの開発会社であるソリッド(株)との意見交換を行い、次の結論を見るに至りました。

<第14回事業運営委員会での「共同購買サイト」改善方向>

- ・誰にでもサイトの商品を閲覧できるようにする

- ・商品に興味をもってもらい、その後サイトに入る（ログインする）ように仕向ける
- ・サイトの利用には、一般と組合員を分けて利用できるようにする
- ・組合員利用には価格が有利な条件（メリット）を与える
- ・サイトを利用するに、最初から ID と PASS を要求しない
- ・購入商品の送料は個別に請求できるようにする

経営組織委員各位へここに至った理由に理解を得るため、再度ソリッド(株)を当委員会に招き、実際に運営している商品照会サイトを例にしながら、商品購入サイトの考え方（設計思想）を説明していただきました。

本委員会において、事業運営委員会の情報専門部会でこの方針にもとづき、ソリッド(株)と詳細検討に入ることを確認しています。

8. マツダパーツとの話し合い及びメーカーとの懇談会日程

事務局から、マツダパーツとの話し合い経過報告と、今後の自動車メーカーとの懇談会日程について確認がなされました。

1) マツダパーツとの話し合い経過

10月12日(火)に全部協において基本契約書取り交わしについて話し合いを行っています。しかし、その後の進捗が思わしくありません。予定の2ヶ月を超えましたが、契約書の具体案の提示がなされません。年明けの1月に経営組織委員会の下部組織の取引改善専門部会で会談を申し入れ推進を促すことを確認しました。

2) 自動車メーカーとの懇談会日程

理事長療養の都合で、今年のメーカーへの懇談会申し入れをまだ行っていません。今年度は、マツダパーツ、スズキ、本田技研工業を予定しています。

理事長の復帰が1月以降になる見込から、事前に2月～3月での懇談会開催を申し入れることを確認しました。

9. 互換入力者報賞（平成28年度第2四半期報賞）

「WEB共通互換品番検索システム」第2四半期入力者順位が事務局から報告され、以下の8社に報賞金と商品券を贈ることが確認されました。

第1位 ダイヤ自動車(株) 福島営業所 5,163ポイント 3万円

第2位 (有)梅原自動車部品 本店 470ポイント 2万円

第3位	(有)盛岡自動車部品	本社	292ポイント	1万円
第4位	(有)竹浪商会	本店	251ポイント	3千円商品券
第5位	(有)木下部品	本店	240ポイント	同上
第6位	三徳部品(株)	本社	190ポイント	同上
第7位	三和自動車商事(株)	本店	180ポイント	同上
同上	(株)福博モーター商会	本店	180ポイント	同上

10、互換入力キャンペーン実施と年間報賞について

「WEB 共通互換品番検索システム」利用促進とデーター入力の推進を図る手段として、年間報賞制度を設けることを確認しました。また、この制度発足に合わせて、入力キャンペーンを実施することも了承されました。

キャンペーン実施に関係することとして、ビッグウェブのメールマガジン「BEST ニュース」11月号に、全部協の「WEB 共通互換品番検索システム」を取り上げ、リサイクル事業者に紹介していることが報告されました。中古部品取扱業者においても、共通互換品番は自動車メーカーの多角的業務提携が進む中で、ますます重要視されていることをうかがい知ることができます。

全部協の固有の情報資産である「WEB 共通互換品番検索システム」の価値の重要性が再認識され、また、このシステム開発の提案者である事業運営委員会メンバーの顕彰も今後検討するべきとした意見が委員から述べられました。

<確認されたキャンペーン実施と年間報賞の内容は以下のとおりです>

1) 年間報賞方式

平成25年第二回通常総会で行った「互換入力者功労表彰」を考慮して、以下の報賞方式とする。

- ①年間報賞を1位と2位に贈る
- ②報奨金額は、1位5万円、2位3万円とする
(功労表彰では10万円×2社に贈りました。)
- ③報奨金の贈呈は総代会で行う
- ④報賞受賞者の授賞式出席旅費の実費相当を組合で負担する

2) 入力キャンペーンの実施方法

- (1) キャンペーン内容を事前に組合員へ案内する
案内の方法は、メルマガ、全部協フェースブック、機関誌、および、メールによる。
- (2) キャンペーン期間を設ける
通常報賞の期間と同じ四半期ごとにする。

- (3) キャンペーン期間中の該当ポイントは20ポイントにする
現状付与ポイント：純正→純正=10ポイント
純正→優良=1ポイント
- (4) 当面のキャンペーンテーマは大型の部品とする
いすゞ⇔マツダ
いすゞ⇔ニッサン
いすゞ⇔UD
- (5) 第1回目のキャンペーン実施時期
次の第4四半期（平成29年1月～3月）とする。実施時期を事前に
組合員へメルマガ12月号とメールで案内する。

1.1, ZEN-ERiC 商標の組合員利用と事業化

事業運営委員会は、全部協のPB商標「ZEN-ERiC」の利用機会を増やし、業界への認知度を高めていく手段として、組合員による使用ルールを定めました。

また、組合員のPB商標利用手段提供として、「ZEN-ERiC」商標を記載した事務用品などの制作を、事業運営委員会の請負事業にすることにしました。

当委員会において、このことを確認し、さらに、組合員企業へ、名刺、封筒、広告チラシなどの利用を促すことを確認しました。

<確認された商標の利用と事業化の内容>

1) ZEN-ERiC 商標の利用方法について

全部協のPB商標「ZEN-ERiC」を組合員企業が個別利用するルールを定め、このルールを全組合員へメルマガで案内する。

- (1) 商標を利用するに、全部協組合員であることの併記を求めない
- (2) 商標をどの様に利用するかは組合員が自由に構成編集できる
- (3) 使用する上での照会用にそのサンプルを作る

2) ZEN-ERiC 商標記載の請負事業について

組合員企業が使用するPB商標「ZEN-ERiC」を記載した、封筒、名刺、広告チラシの作成請負を事業として行う。

制作デザインなどは、個社との相談事項とし、また、価格もそれに応じた話し合いで決めることにする。

組合員は事業運営委員会に委託するか、または別の業者に委託するかは、個別に判断をできるようにする。

デザイン照会用に数種のサンプルを作り、制作受託を募る。

12、「全部協 FaceBook」運営と投稿権限者について

事業運営委員会（情報専門部会）で、SNS「全部協 FaceBook」を立ち上げたことを当委員会に報告しました。

(<https://www.facebook.com/zenbukyo/>)

また、運営方法と情報投稿者及びその役割について確認しました。

1) 運営方法

「全部協 FaceBook」の管理運営は事業運営委員会（情報専門部会）が行います。

また、情報提供者及び記事の投稿権限者は次のとおりです。

<投稿権限を有するメンバー（案）> 敬称略

- ①理事長
- ②経営組織委員から3名
- ③情報専門部会委員から3名
- ④編集委員会

2) 「全部協 FaceBook」の役割・・・投稿者の役割

全部協の日々の委員会活動と事業活動を常時発信します。また、メルマガや機関誌の情報を補完することも担います。

- ①鮮度の高い情報を組合員へ発信し、シェアする
- ②組合員の参加勧誘を促し、関心を引きつける
- ③FaceBook を魅力あるものにして、全部協 PhaseBook へ組合員を誘う

13、ワイパーリフィールキャンペーン実施などについて

ZEN-ERiC ワイパーのメーカーとワイパーリフィールキャンペーン実施とフラットワイパーの販売方法について意見交換しました。

1) 「ZEN-ERiC ワイパーリフィール冬季キャンペーン実施」について

冬季キャンペーンを12月12日～2月17日の期間に行うことを確認しました。

今回の特徴は、従来100本単位での販売としていましたが、購入しやすくして取り扱い組合員を増やす目的から、50本単位（アソート）を加えたことが挙げられます。

委員との意見交換の中で、次の意見が述べられました。

- ・キャンペーン期間は梅雨に入る前の4月～5月が望ましい
- ・または、自動車整備が集中する3月～4月ないし、9月～10月が良い

2) ZEN-ERiC フラットワイパー（バウアーブレード）の販売方法について

今まで、寸法毎ないしアソートで10本単位の販売方法を探っていましたが、それ以外に、車種毎に2本セット販売方法の提案がありました。売れ筋のプリウスなどのセット販売を行い、組合員の営業商材とする提案です。必ずしも組合員にその方向での提案営業を期待できるわけではありませんが、新たな取り組みとして、セット販売をお願いすることにしました。

3) 委員会メンバーによる自社の営業車へZEN-ERiC フラットワイパー装着

事業運営委員会からの提案として、経営組織委員会メンバーも含めて委員各社の営業車へZEN-ERiC フラットワイパーを装着する提案がなされ、協力が求められました。有償で購入し、営業投資として委員各社の営業車に装着してもらい、使用体験を積んで、少しでも販売に協力していただく事を要請しました。

委員会メンバーから注文を受ける様子を事業運営委員会で準備することになります。

4) 支部、ブロック協議会でのプレゼン参加

全部協長野県支部と近畿ブロック協議会でのZEN-ERiCワイパーの展示照会を行う事を確認しました。

長野県支部は1月21日（土曜日）、近畿ブロック協議会は4月1日（土曜日）に開催します。

1.4. 共同購買事業への理解と協力お願いについて

共同購買事業の展開が全部協運営上必要でありながらも、推進のための各種キャンペーンや地方での説明会開催などの予算措置を毎年行っていますが、実行に移されず成果を上げていません。2日間に亘る一連の議論を踏まえ、このことが事務局から再度報告されました。

全部協の運営の主体は理事会とその諮問を受けた委員会にあります。その役割の重要性の再認識が促されました。

これを受け、事業運営委員長から次の考えが述べられました。

結論はなかなか出ないことですが、共同購買事業をやめるにもやめ方が

あります。関係企業に迷惑のかからない方法を探りたいと思っています。

（やめるには同意を取り付ける必要があるとの問いかけがあり、それに答えるように）やめる希望は持っていません。協力事業者に組合員個々との取引をあっせんする方法もあります。そのことも（いろいろ）考えていきます。

他の委員からは、地方の研修会で組合員へ ZEN-ERIC 商品の取り扱いを促す説明を行う用意があることの申し出がありました。また、共同購買事業を離陸（継続的に成功）されるために、一時的に協力を要請された場合は応える用意があることの申し出もありました。

15. その他

1) 「アフターマーケットサプライヤー活性化委員会」の 動向についてフリー討議

今年の6月29日に発足した「アフターマーケットサプライヤー活性化委員会（AAC）」のその後の動向について意見交換しました。

関係団体（JAPA、GP会）からの問い合わせが事務局にあります。が、詳しい情報を持ち合わせていません。

年間スケジュールによると、幹事会3回、勉強会4回が予定されています。AACに参加している組合員からも具体的に情報は得られませんでした。

また、ブロードリーフの「部品MAX」について、一部の情報では出展部品点数が12万点とも言われています。しかし、これについてもその情報の出所の確認が取れていません。

一部の委員からは、これらの件について全部協として議論する意味を持たないのではないかとの意見が出されました。

2) その他

事業運営委員会から次の2件について報告がありました。11月号のメルマガにも掲載していますので、詳細は省略します。

- (1) 「全部協共同購買サイト」新規商品掲載
 - (2) 「陸運情報」へのZEN-ERIC 広告掲載と費用について
-
-

Ⅱ 第10回編集委員会

全部協は第10回編集委員会を平成28年12月15日（木）10時から、全部協会議室（東京上野）で開催しました。

議題は、次の通りです。

- ①第5号（1月号）の紙面割り確認
- ②第5号（1月号）の紙面記事内容について
- ③配送部数確認
- ④広告募集状況
- ⑤その他

※詳しい議事内容は、ホームページの組合員ルームで確認ください。

1. 第5号（1月号）の紙面割り確認

第5号の紙面構成の紙面割り案について意見交換し、以下のとおり確認しました。

【1面】

トヨタEV+WRC18年ぶりに参戦（マイクロソフト・自動運転・EV）、ノート販売台数首位奪還、法制度の改正（突起物、さまざまな義務化）

【2面】

新戸部理事長 挨拶、JAPA 青木理事長 挨拶

※経産省自動車課長から新年のご挨拶をいただくことになり、委員会後に追加されました。

【3面】

話題の新型車（日産ノート）、イベントレポート（神奈川EXPO）

【4面】

NGKの広告と記事

【5面】

（連載）メカニカルレポート [第5回]、プリウス関係の情報掲載

【6面】

メーカー商品情報（ドライブレコーダーの奨め、保険情報がらみ）、
新車販売台数ランキング

【7面】

オリックスの安心運転 Everdrive（高齢者事故）、連載：健康コラム、
自動ブレーキ装着車の保険料率改定

【8面】

（連載）ビジネスマナー（メールのマナー）、イベント情報

2. 紙面に掲載する情報として

1) 年頭所感について

新戸部理事長が執筆できない場合の対応について話し合いました。また、
全部協は ZEN-ERIC ロゴのゼット文字、JAPA は優良部品の JP マークロゴを
記事の背景に入れることを確認しました。

2) 自動車新聞社発行の業界紙「アフターマーケット」掲載予定記事について

自動車新聞社から事前に送られてきたネット通販に関する記事で、ZEN-
ERIC 部品と全部協の共同購買事業を取り上げています。そこには全部協
組合員が ZEN-ERIC 部品の展開と共同購買事業に消極的である内容に
なっていました。

この記事は、現状において内容に間違いありませんが、全部協全体の事業
活動に消極的な印象を与えることから、機関誌の記事として取り上げるべき
かを議論しました。新年号では理事長の年頭の挨拶でこれからの全部協の
方向が示されます。公式にこれが全部協の方針で、それに揺るぎないこと
から、あえて取り上げないことになりました。

3) 紙面への反響

徐々に評価が高まっていることが事務局から報告されました。内容ばかり
で無く記事の構成（コマドリ）や紙面配置などについても、好評をいただい
ているようです。これを維持してさらに評価していただける紙面にして行く
ことを確認しました。

3. 配送部数確認

組合員数動向に変化がないことが事務局から報告されました。したがって、
部数に変更はありません。

4. 広告募集状況

他誌を例に1年半くらいは認知が行き届かないことから広告掲載が増えないものと考え、広告掲載を促す方策について意見交換しました。広告で掲載された商品が、部品商の取り扱いであるかを問題にすると、掲載応募企業が増えてこないことから、方針を変えて募集に臨むことが必要なようです。

しかし、掲載企業と卸問屋及び部品商との混乱を招かないように配慮するため、版下の段階で全部協委員が確認することになりました。

6. その他

- 1) 次回委員会開催予定日を1月16日(月)にしました。
- 2) メルマガ1月号の発行日は1月12日(木)を予定することになりました。

4 | 支部・ブロック協議会活動報告

1. 全九部理事会開催 (平成28年12月7日)

全九州自動車部品商組合(川原忍会長、(株)川原自動車部品商会、鹿児島県)は12月7日(水)15時より、福岡市博多区の八仙閣本店にて平成28年度第3回理事会を開催しました。

各県を代表して8名(欠席者1名)が参加しました。

議題は、以下のとおりです。

<全九部理事会の議題>

- ①平成29年度総会について
- ②ブロードリーフ部品MAXとサプライヤー委員会について
- ③役員会総会の交通費について
- ④社外新品(外装部品)について
- ⑤その他

<川原会長の挨拶>

10月より市況が失速してきたようである。ここにきてマツダパーツ含め部共販の動きがでて来ている。先日ビコー栄和の説明会を行ったが、宮崎と

福岡でも説明会を計画していく予定である。

(このほかに、会長よりボタン電池の販促ツールとベルトやパットの交換推進ステッカーの説明があり、整備工場への販促ツールとして市場の喚起につなげていきたいとの説明がありました。)

<主な議題の内容>

1) 平成29年度総会について

宮崎県において、平成29年3月11日(土曜日)に開催される事が決定しました。詳細については、宮崎県の高見理事長より後日案内される事になっています。

2) 社外新品(外装部品)について

優良鋳金部品は現状主に中古解体業者からの流通になっています。一般的に部品商は新品の純正部品を扱っていますが、その代わりに優良鋳金を販売しようとする、どうしても品質他で扱いにくいところがあります。それに対し中古解体業者は 中古部品が無い場合にその代替として優良鋳金を販売しており、整備工場にとっては受け入れ易いといえます。しかしこれから注目すべき商品であるので、部品商としても積極的に販売する術を考えていかななくてはなりません。

3) その他

鹿児島においては、マツダのロードパートナーが直売ルートのみとなりそうです。またダイハツが移転により配達をやめるようです。各県によって配送状況はまちまちのようでもまったく配送が無い県もあります。

福岡県をはじめ、スズキの部品が一切返品不可となっているようです。ただ県によっては可能なところもあり状況を確認していきます。

宮崎県では日産部販とトヨタ共販が土日の営業をやめるようです。

宮崎県の部品商で営業所開設等の動きがあります。部品組合加盟に変動がありそうです。

2. 長野県支部 全県経営研修会 開催予定(平成29年1月21日)

全部協長野県支部(和田一昭支部長、長野自動車部品(株)、長野市)は、1月21日(土)、松本市浅間温泉「ホテルおもと」におきまして、平成28年度全県経営研修会(新年会)を開催します。

開催要領は次のとおりです。

<全県経営研修会開催要領>

- 1) 日時 平成 29 年 1 月 21 日 (土) 14 時開会
(理事のみ 12 時より理事会)
- 2) 会場 浅間温泉「ホテルおもと」電話：0263-46-2385
- 3) 次第
 - (1) 理事会 12 時～14 時
 - (2) 研修会 14 時～17 時 30 分
 - ①新年挨拶 (和田支部長)
 - ②全部協報告 (全部協、前田副理事長)
 - ③その他
 - 講演 16 時～17 時 30 分
 - 講師 松本少年刑務所 法務事務官看守長 辻 和雄 氏
 - 演題 「明るく平和な社会づくり」～ (矯正施設出所) 員者支援～
 - (3) 懇親会 18 時 30 分～

国交省統計 URL

認証・指定工場数及び新規・廃止状況 (速報)

<http://www.mlit.go.jp/common/001157327.pdf>

優良認定工場数 (速報)

<http://www.mlit.go.jp/common/001157328.pdf>

自販連 URL

ブランド別新車販売台数概況 2016 年 12 月

<http://www.jada.or.jp/contents/data/hanbai/brand01.html>

一般社団法人 全国軽自動車協会連合会 URL

2016 年 12 月軽四輪車新車販売速報

<http://www.zenkeijikyo.or.jp/statistics/index.html>

1, 地方支部会合やブロック協議会における全部協事業活動照会協力お願い

全部協では事業活動の説明照会の機会提供を求めています。組合員企業各社へ各種事業案内をメールやメルマガで行っていますが、十分に伝えられていないことから、直接説明する機会の提供を求めています。

地方支部または組合の会合やブロック協議会開催などの計画がありましたら、事務局までお知らせください。

全部協の事業活動の照会を、各委員会の組合員メンバーにより行う機会の相談をさせていただきます。合わせて ZEN-ERIC 商品及びあっせん販売商品の展示照会の機会提供の協力をお願いいたします。

2, 「富士通パソコン冬期販売」～タブレット型とコンパクトタイプを追加しました～

組合員から好評をいただいています富士通パソコンを平成 29 年 1 月 10 日～3 月 31 日（期間限定）で販売します。第 9 回目となる今回は、新たにコンパクトタイプのデスクトップ型とタブレット型パソコン 2 種類を追加いたしました。従来の品種構成 4 種に加え、7 品種となります。

全部協が富士通と提携することにより、いずれの商品も業務用パソコンとしての使用に耐えるスペックを備えたものです。市場にある廉価なパーソナルユースとは異なる耐久性と品質を備えていて、さらに富士通のフルサポートも受けることができますので、安心してお使いいただけます。

製品スペックと注文方法につきましては、組合員へのメールによる案内と組合員ルーム

http://zenbukyo.or.jp/member/joint_buy_etc.html

でご確認ください。

3, 好評の機関誌「オートモーティブプライムニュース」

機関誌「オートモーティブプライムニュース」の評価が徐々に高まっています。組合員企業ばかりでなく業界新聞社からも高く評価いただいています。

読みやすい、文字に圧迫感がない、記事の配列が気に入った、などなど。
自動車業界の最先端の情報とトピックスを掲載し、部品商の客先指向の記事が
評価の理由になっています。

組員各社は、是非、客先への情報ツールとして営業展開にお役立て
ください。また、お付き合いの間屋やメーカーへの紹介に合わせ、広告掲載の
協力をお願いいたします。

4. 国内生産の ZEN-ERiC (R) 商品

組員各社から頻りに問い合わせをいただきますが、ZEN-ERiC 商品は日本
国内で生産している商品です。

全部協の事業運営委員会が品質及び価格共に自信を持って取り扱いを決めた
商品です。

優良部品メーカーの価格と比較されることがありますが、国内製品であるか
どうかの確認をして、ご判断いただくことをお奨めいたします。

ZEN-ERiC ブランドの製品は、部品商自らが選んだ部品商のための
商材として、全部協から提供しています。

5. 「IAAE2017」開催（3月15日～17日）

第15回国際オートアフターマーケット EXP02017（略称：IAAE2017）が
開催されます。

○期日：2017年3月15日（水）～17日（金） 10：00～17：00
（最終日のみ16：00まで）

○会場：東京ビッグサイト 西3・4ホール

自動車の売買、整備、メンテナンスをはじめ自動車を取り巻く環境・イン
フラなど様々な自動車アフターマーケットに関する最新情報・業界動向を、
展示・実演セミナーなどにより情報発信をし、有意義なビジネス交流の場を
創出するコンベンションです。

全部協も実行委員構成メンバーの「自動車部品・用品関連団体（14団体）」
の一員として参加しています。

ご希望の組員へは入場招待券をお送りいたしますので、全部協事務局まで
お申し込みください。

○自動車部品・用品関連団体（14 団体）

一般社団法人日本自動車部品工業会
全国自動車部品販売店連合会
一般社団法人日本自動車販売協会連合会
一般社団法人日本自動車機械器具工業会
一般社団法人オートケミカル工業会
一般社団法人日本自動車整備振興会連合会
全国自動車用品工業会
日本フィルターエレメント工業会
日本自動車部品協会
日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会
一般社団法人日本自動車リサイクル部品協議会
一般社団法人自動車用品小売業協会
リビルド工業会全国連合会
全日本自動車部品卸商協同組合

6. あっせん販売商品の紹介

全部協（事業運営委員会）では、各種商品販売のあっせんを行っています。
現在のあっせん販売商品をご紹介します。全て組合員ルームに掲載しています。

1) 補修用ガラス

生駒商事（株）、（株）ビッグウェーブ、の自動車補修用ガラスを
取り扱っています。

http://zenbukyo.or.jp/member/joint_buy_h_glass.html

2) 輸入タイヤ

（株）ハンコックタイヤジャパン
（株）ビッグウェーブ（オートウェイループ）
の輸入タイヤを取り扱っています。

http://zenbukyo.or.jp/member/joint_buy_i_Tire.html

3) リサイクル部品

（株）ビッグウェーブ（リパーツダイレクとシステム）
（株）OSS 司（リビルド製品）を取り扱っています。

http://zenbukyo.or.jp/member/joint_buy_recycle.html

4) 車輻部品検索システム

(株) アベックスの

車両・部品検索システム「アテナ (ATNA)」を取り扱っています。

1) Windows パソコン用「アテナ (ATNA)」

2) タブレット端末用「アテナ (ATNA)」 Android 版、iOS 版

http://zenbukyo.or.jp/member/joint_buy_atna.html

5) 高品位尿素水

有限会社マイコーポレーションの AdBlue (R) (高品位尿素水) を取り扱っています。

http://zenbukyo.or.jp/member/joint_buy_adblue.html

7, 「共同購買サイト」掲載商品

全部協の「共同購買サイト」には以下の商品を掲載しています。

<http://zenbk.com/members/login>

共同購買マニュアル「Let's get started!」vol.13 (2013.11.27) を参照ください(「共同購買サイト」のお知らせにあります)。

- (1) e-分岐タップ (2) 間仕切り透明カーテン (3) バンパー
- (4) フェンダー (5) ボンネット (6) ヘッドランプ
- (7) クリアランスランプ (8) サイドマーカーランプ
- (9) テールランプ (10) 知恵袋 (11) P/Sギヤボックス (12) 触媒
- (13) マニュアルミッション (14) パワステポンプ (15) ダイナモ
- (16) セルモーター (17) スノーテックス (18) WAVE BOX
- (19) ラ・クール (20) バイザー (21) ショーワグローブ
- (22) ETC (23) ワイパー (24) タイヤ補修用品
- (25) ブレーキパッド (26) GE 製自動車用バルブ (電球) (NEW)

8, 「共同購買サイト」の“お知らせ”から

「共同購買サイト」トップページの「お知らせ」に以下の記事が掲載されています。ここから、各種商品の案内と注文様式をダウンロード出来ます。

- 1) GE 製バルブデーターシート (NEW)

- 2) PM システムでのマスター設定マニュアル
- 3) AdBlueR あっせん販売案内と注文様式
- 4) フラットワイパーブレード販売開始!! (価格表・適合車種表)
- 5) PB ブランド軽自動車用ブレーキパッド販売開始 (適合表・価格表)
- 6) ZEN-ERiG ワイパーリフィール適合車種表
- 7) タイヤ用品・補修用品販売開始 ((株)フリーマタイヤサプライズ)
- 8) ワイパーリフィール・アソート 100 本 FAX 注文書(pdf 版)
- 9) ワイパーリフィール販売開始!! (価格一覧・互換表)
- 10) TOYOTA ナンバーフレーム一覧 2015 年 8 月現在
- 11) 全部協からの補修用自動車ガラスあっせん販売
- 12) 全部協からの輸入タイヤ販売あっせん開始の案内
- 13) ショーワグローブ製品 (6/27 新規チラシ追加版)
- 14) ETC 車載器【全部協会員特価】 早いものガチ!
- 15) 間仕切りエコ・カーテン by (株)大成部品
- 16) キャンピング用品 by (株)コイズミ
- 17) シーズン到来?【SnowTex】by (株)コイズミ
- 18) 約 4,000 点【リビルド製品】by OSS 司
- 19) YBP 商品一覧はこちら (PDF 全部協売価入り)
- 20) YBP 商品一覧はこちら (Excel 資料)
- 21) みんなの知恵袋! (OEM 車両編) →便利!!
- 22) e-分岐タップのチラシはこちら!

7 | 全部協会議・活動日程

全部協会議・活動日程につきましては
添付の PDF データ「01_h29kaigiyotei-nenkan-01.pdf」をご覧ください。

8 | メルマガ配信アドレス登録のお願い

このメルマガは、組合員、賛助会員、及び旧「全部協プライムニュース」の

配信希望登録を頂いた、組合員企業の社員、関係機関・団体・企業の皆さまにお送りしております。

組合員企業、賛助会員企業の皆さまで、配信のご希望がありましたら、全部協ホームページからメルマガの配信登録をお願い致します。

組合員 URL : http://zenbukyo.or.jp/member/mail_form2.html

賛助会員 URL : http://zenbukyo.or.jp/s_member/mail_form2.html

なお、この URL を開くためには、組合員ルームないし賛助会員ルームの ID とパスワードが必要です。ご不明の場合は、事務局までお問い合わせください。

また、組合員と賛助会員企業の関係先で配信希望がございましたら、事務局までお問い合わせください。ご相談の上配信の取り計らいをさせていただきます。

9 | 付録

1) 大同生命からのお知らせ

①付録【社内規程】

添付の PDF データ「02_daidouseimei-news.pdf」をご覧ください。

②201701【ビジネスレポート】

添付の PDF データ「03_daidouseimei-bl201701.pdf」をご覧ください。

2) ワイパーリフィール特価キャンペーンチラシ

添付の PDF データ「04_wpc.pdf」をご覧ください。

3) PB 商品の広告

添付の PDF データ「05_PBpr.pdf」をご覧ください。

4) その他の広告リンク

ショーワグローブ株式会社

<http://www.showaglove.co.jp/>

メルマガ全部協プライムニュースへのお問い合わせ

本メールについてのご意見、ご感想、お問い合わせ

全部協プライムニュース メールマガジン事務局（ジェイシーレゾナンス内）

〒104-0045 東京都中央区築地 3-3-2 NEWS 築地 9F

TEL : 03-5565-1642 FAX : 03-5565-6909

E-mail : primenews@jc-resonance.co.jp

Copyright (C) 全部協プライムニュース メールマガジン事務局